

『テスト結果は点数だけを見てはいけない』

今年度初めての定期テストが、6月13日、14日に行われ、そのテストの返却も終わっていると思います。テストなので、もちろん点数が一番気になると思います。ただ、点数を見て「良かった」、「悪かった」と一喜一憂するだけで終わることがないようにしてください。100点でない人は、必ずどこかを間違えているわけです。ということは、理解できていない部分があるということです。それをそのままにしておくと、次の時も同じ問題を間違えます。夏休み明けには、今回のテスト範囲と同じ問題が半分ぐらい？出題される課題テストがあります。その時に同じことにならないためにも間違った問題、勘違いしたところの見直しをしておきましょう。

また、皆さんのほとんどは、中学校卒業後、高校などへの進学を希望していると思います。高校などへ進学する場合は、入試があり、その範囲は中学校3年間で学習した内容の全てです。ということは、今回の定期テストの範囲も入試の範囲です。それを確実に理解しないで、入試直前になってからたくさんの範囲に取り組みなくてはなりません。そうならないためにもできるだけ次のことに取り組んでみてください。

①間違えたところ・・・なぜ間違えたのかを確認する

わからなかった ⇒ わかるまでワークなどをやり直す。先生に聞く。

勘違い（ケアレスミス）⇒ ワークやノートを丁寧に書くようにする。

雑に書く人、ながら族ほどケアレスミスは多い。

※ながら族とは、手の届くところにスマホやゲーム、漫画などを置いてすぐに何かをしながら勉強する人のこと。

音楽を聴きながら勉強というのは、人によって効果が違うようです。

最近はスタバ（BGMがある）にも中学生、高校生が朝から勉強しています。

②正解したけど次も正解できるという自信のない問題

何となく理解はしているのだろうけど、完全に理解できていない可能性が高いです。

もう一度、ワークや類似問題に取り組み、完全に理解できるようにしておく。

③テスト後の復習

実はこれが一番大切。これをする事で理解した内容が、かなり定着します。

定期テストは点数がとれるけど、実力テストだと点数がとれないという人は、是非取り組んでください。これは、できるだけ早く取り組んだ方が効果的です。夏休みにやろうと思っている人も後回しにせず、すぐにやってみましょう。

④テストも問題と解答用紙は保管しておく。

テストが終わるとすぐに問題用紙などをなくしてしまう人がいますが、必ず保管しておくようにしましょう。復習するときに活用できます。

生徒会から

テスト後の過ごし方

学年が上がり1回目の、1年生にとっては初めての定期テスト、お疲れさまでした。さて、今月はテストの後、どう過ごすとかにつなげるのかを紹介していきます。

1 解きなおす

みなさん、返ってきたテストの解きなおしはもう終わっていますか？テストが返ってきて自分の苦手なところ、覚えきれていなかったところがあったと思います。それを克服するためには、もう一度問題を解き、しっかりと理解することが大切です。納得できない、なぜそうなるのかわからない、というときは友人や先生に聞いてわからない問題をそのままにしないことが大切です。YouTubeなどに解説動画も載っているので「中学生 ○○(教科と単元)」と調べてみるのもおすすめです。

2 自分の現状を把握する

テストの結果を受け、自分の得意不得意を把握することもポイントです。把握できたら、どうすれば解けるようになるのか、もっと点数を取れるようになるのかを考えて実行するまでが大切です。解決策が浮かばないときは、1と同じく友人や先生に聞くと良いかもしれません。また、インターネットで調べると良い勉強方法がたくさん出てきます。調べるだけでモチベーションが上がることもあるので、ぜひ試してみてください。

テストをどこまで今後に生かせるかは自分次第です。がっかりした気持ちのまま、うれしい気持ちのまま終わるのではなく、切り替えて次につなげるには、を考えることが大切です。

“数学力アップへの挑戦”の取組状況

1年生（5月下旬から開始）164枚	2年生（4月中旬から開始）125枚
3年生（4月中旬から開始）389枚	※ 6月26日現在

数学力アップへの挑戦では、1年生の頑張りがすごいです。中には、1日で10枚（裏表）全てやり遂げている人もいます。3年生は、コンスタントに提出していますが、クラスなど提出する人が決まってきたように思います。2年生は、なかなか提出率が上がってきませんので、7月からは枚数、問題数も減らして実施することにします。この数学力アップへの挑戦は、本校の学習面での目標『自学』のために行っています。1学期もまだ1か月近く残っています。最後まで頑張ってください。

保護者の皆様へ・・・定期テストの返却後、お子様に対して、点数についてのコメントだけでなく、テストで間違ったところは見直して、理解できたのかどうかを確認してください。もし、まだ理解できていない場合は、早めに先生に聞きに行くように促してください。よろしくお願いします。